



「おけいこ だいすき♪」



新学期が始まり、慌ただしい日々が続いています。環境が変わり、ストレスが多くかかるこの時期、思い切って「おけいこ」始めてみませんか？

「おけいこ」といっても茶道、書道、武道からピアノ、そろばん、お料理までさまざま。日常から離れた時間を持つことによって、驚くほどリフレッシュできます。おけいこで広がる豊かな世界を描いた小説、エッセイなどを紹介します。 (大久保美玲)

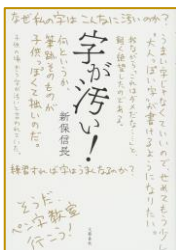


森下典子『好日日記』パルコエンタテインメント事業部 2018

昨年映画化され話題になったエッセイ『日日是好日』の続編。筆者が40年以上の歳月をかけて、お茶室という小さな宇宙で感じた四季の美しさのかけらをお裾分けしてもらおうような、胸がときめく素敵な感覚が味わえる作品です。森下さん直筆の美しい絵も見どころです。

藤野恵美『初恋料理教室』ポプラ文庫 2016

京都の古い長屋で営まれる料理教室。毎週土曜日の男性限定クラスに参加する4人の人間模様が描かれます。着物に白い割烹着がよく似合う老齡の愛子先生に京都の家庭料理を習いながら、「正しく食べていれば、正しく生きていける」ことを実感し、少しずつ心豊かな世界を覚えていきます。巻末には物語に登場するお料理のレシピが紹介されています。



新保信長『字が汚い！』文藝春秋 2017

あるとき突如自分の字の汚さに絶望した筆者が、一念発起してペン習字を習い始め、それと同時に様々な字の達人の話を聞きながら、自分の理想とする「いい感じの字」を手に入れようとする七転八倒・抱腹絶倒のエッセイ。筆者のものに限らず、丸文字、ヘタウマ、芸術的なものなど個性的な文字が写真で多く紹介されておりパラパラめくるだけでも楽しい一冊。



〈おけいこ小説〉

- 小川糸『ツバキ文具店』幻冬舎 2016 ☆お習字
- 辻村深月『東京會館とわたし』上・下 毎日新聞出版 2016 ☆お料理
- 菅田哲也『武士道シックスティーン』文藝春秋 2007 ☆剣道
- 中山七里『さよならドビュッシー』宝島社 2012 ☆ピアノ
- 村上春樹『騎士団長殺し』新潮社 2017 ☆絵画



〈おけいこエッセイ&実用書〉



- 岡倉天心『茶の本』岩波文庫 1988 ☆茶道
- 武田双雲『誰でもカンタン!「いい字」が書ける』筑摩新書 2018 ☆お習字
- 高橋郁代『おやこでつくろう こどもお花部』新潮社 2013 ☆お花
- 川浦良枝『しばわんこの和のおけいこ』白泉社 2008 ☆いろいろ